

III. 小児の視覚発達の評価法に関する研究

丸尾 敏夫* 久保田伸枝* 神田 孝子**
湖崎 克*** 須賀純之助**** 宮本 吉郎*****

研究目的

乳幼児健康診査についての厚生省指針の作成。

研究成果

三歳児健康診査の指針について丸尾が案を作成し、研究協力者の意見を聞いた上、資料のよ
うな案を決定した。

三歳児健康診査における視覚検査の指針(案)

1. 視覚検査の実施場所と内容

1) 予備検査 家庭

視力検査と問診に対する回答

2) 一次スクリーニング 保健所

a. 家庭での視力検査で視力不良及び検査不可能の児に対する検査

b. 問診に対する回答で眼疾患・眼異常が疑われる児の検査

3) 二次検査 眼科

保健所で視力異常及び眼疾患・眼異常と判定された児の検査

2. 家庭での予備検査

視覚予備検査セットが保健所から各家庭に送付されるので、説明に従って視力検査を行い、問診に対して回答し、結果は保健所の健診会場に持参する。

視覚予備検査セットは、視力検査用視標、問診票、説明書及び視覚検査結果報告書から成る。

1) 視力検査

視標は、ランドルト環の0.1と0.5を使用する。0.1は練習用、0.5は検査用とする。但し、ランドルト環の代りに絵視標を使用しても差し支えない。

検査距離は、2.5mとする。

検査は、初めに、0.1の視標を用い、両眼でランドルト環の切れ目の方向を理解させた後に、0.5の視標を用い、まず両眼、次いで片眼ずつ検査する。

視力検査の結果は、0.5の視標によるもののみを記載する。

片眼の検査は、両眼同程度に見える場合には、どちらからでもよいが、左右眼で視力に差がある場合には、視力良好な眼を先に検査する。

*帝京大学医学部眼科

**愛知県総合保健センター視力診断部

***大阪市湖崎眼科

****町田市須賀眼科

*****松戸市宮本眼科

2) 問 診

問診は、次の項目について回答する。

- | | | |
|---------------------------------|-----|----|
| (1) 目付きがおかしいですか。 | いいえ | はい |
| (2) まぶしがりですか。 | いいえ | はい |
| (3) 目を細めて見ますか。 | いいえ | はい |
| (4) 物に近付いて見ますか。 | いいえ | はい |
| (5) 頭を傾けたり、横目で見たりしますか。 | いいえ | はい |
| (6) その他、目について気になることがあれば、お書き下さい。 | | |

3. 保健所での一次スクリーニング

視覚予備検査結果報告で、下記に該当する児については、検査を実施する。

- (1) 家庭での視力検査で視力不良及び検査が不可能であった児については、視力検査を行う。

視力検査は、視標としてランドルト環0.5を使用し、検査距離2.5mとする。

- (2) 問診に対する回答で、眼疾患・眼異常が疑われる児については眼の検査を行う。

検査の結果、視力0.5未満の児及び眼疾患・眼異常が疑われる児については、二次検診へ回す。

視力検査不可能な児童については、2か月後再検査を行い、再検査でも不可能な場合は、二次検診へ回す。

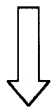
4. 眼科での二次検診

一次スクリーニングで異常が疑われる児については、下記の検査を実施する。

- (1) 裸眼視力検査
- (2) 前眼部視診
- (3) 固視検査
- (4) 眼位検査(角膜反射法、及び遮閉試験による)
- (5) 眼球運動検査
- (6) 屈折検査(必要により調節麻痺薬の点眼を行う)
- (7) 眼底検査
- (8) 細隙灯顕微鏡検査
- (9) 矯正視力検査

検査の結果は、保健所に報告する。

二次検診を担当した医療機関で、診断できても治療不可能な場合又は診断不可能な場合は、更に高次の専門医療機関に紹介する。



検索用テキスト OCR(光学的文字認識)ソフト使用
論文の一部ですが、認識率の関係で誤字が含まれる場合があります



研究目的 乳幼児健康診査についての厚生省指針の作成。